

授業改善研修会 中学校 美術

教師が「～させる」授業から、児童生徒が「～する」授業へ

群馬県教育委員会事務局

義務教育課 生徒指導係

指導主事 大井 衛

本日の内容

- 1 群馬県教育ビジョンと令和6年度学校教育の指針
～図画工作・美術科の「特に現れてほしい児童生徒の姿と重点」～
- 2 図画工作・美術科の「特に現れてほしい児童生徒の姿と重点」
～設定の背景～
- 3 「特に現れてほしい児童生徒の姿と重点」を具現化するために
～本日の授業を基に～

本日のまとめ

- 表現や材料を追求する試しの活動の充実を図りましょう
- 自然な表現と鑑賞の往還を促す環境を設定しましょう

昨年度の取組

「テーマや題名」と「主題」とは

テーマや題名

例) 「うさぎ」「かわいいうさぎ」
など 端的に言葉にしたもの

主題

例) 「見た人が思わず触りたくなるようなふわふわした毛並みを、はけの特性を生かしてうさぎを表現したいな」
など 作者の表現の意図等を具体的に言葉にしたもの

中学校学習指導要領（平成29年告示）解説美術編より

本題材及び本日の授業では…

第三中学校



タブレット端末を活用して、改善箇所の画像を簡単に形や色を組み替えたり、つくりかえたりすることで、自らの主題に合った表現を追求することができる

元総社北小学校



物の配置と光の差し込み方を工夫させることで、奥行きのある自分の表したい世界を納得いくまで繰り返しつくり出すことができるようにしていた

本日のまとめ

- 題材や材料との出会いを生む試しの活動を設定しましょう
- 表現と鑑賞を往還する題材構想をしましょう
- 試行錯誤する時間を確保しましょう

本日の内容

- 1 群馬県教育ビジョンと令和6年度学校教育の指針
～図画工作・美術科の「特に現れてほしい児童生徒の姿と重点」～
- 2 図画工作・美術科の「特に現れてほしい児童生徒の姿と重点」
～設定の背景～
- 3 「特に現れてほしい児童生徒の姿と重点」を具現化するために
～本日の授業を基に～

群馬県教育ビジョンと令和6年度学校教育の指針

より良くしたい気持ちは誰もが持っている。大人も子どももそれぞれが社会を形成するメンバーだ。

—— 持ち続ける視点！ ——
大人も、子どもも、社会的な“一人の主体”

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す

群馬県の教育が目指す5つの学習者像

- 1. 自らが主語となる学びをつくり、深めていく
- 2. 対話と交流により、信頼関係を築いていく
- 3. 生涯にわたり学び続ける喜びを実感し、共有していく
- 4. 多様性を尊重し、互いに認め合う
- 5. 社会課題を自分事化して、行動に移す

“学び”は学校だけじゃない。様々なつながりで様々な場所で様々な学び合いを。

—— 持ち続ける視点！ ——
学校で、家庭で、地域で…自ら学び育つ、共に学び育つ

※「目指す学習者像」は、5つの独立した人物像ではありません。一人の人間に満たはれても構ってほしい要素としての適用しています。

目指す学習者像実現のための5つの重点政策

- ### 1 変化の激しい社会に対応できる資質・能力の育成

発達段階や個性、興味関心に応じた一人一人の主体的な学びを通じて、知識・技能等の認知能力と学びに向かう力等の非認知能力を相互に強化しながら育っていく。

 - 自ら学びをつくる力の育成
 - 自ら考え、判断し、行動できる力の育成
 - 自立の基盤となる資質・能力の育成
- ### 2 多様性を尊重し、協働する力の育成

全ての子どもの可能性を最大限に伸ばすとともに、一人一人が自分を大切にし、異なる状況にある他者を尊重し、対話や交流を行い、互いにとって良い方向を見い出そうとする姿勢を身に付ける。

 - 特別支援教育の推進
 - 互いを理解・尊重する活動の推進
 - 多様な価値観を踏まえた協働の推進
- ### 3 自分と社会をより豊かにするための生涯にわたる学びの支援

人生100年時代において学び続ける意欲を高め、自らの興味関心に基づいて社会課題を自分事化して深める学びや、文化・芸術との関わりを深めること等により、それぞれの学習者の自己実現や地域コミュニティの基盤形成につながる学びを豊かにすることを目指す。

 - 主体的に社会の形成に参画する態度の育成
 - 社会教育や体験活動等の多様な学びの充実
- ### 4 心と体の健康に対する理解と向上

自らの生命の大切さを認識し、心と体の健康に関する基本的な知識を身に付け、心身相調の関係性を理解して実践につなげることで、全ての学びの基盤である心身を整える術を身に付ける。

 - 心と体の健康への理解と意識向上
 - 身体活動の充実とスポーツを楽しむ意欲の醸成
 - 安全・安心に係る意識の向上
- ### 5 時代の変化に対応した教育イノベーションの推進

教育の「不变（変わらない本質）」の部分も「変化する」部分も大切にしながら、先を駆けて「創知人（自分の道のみを見据え、突き出し、生き抜く力を持つ人）」の育成につながる新しい領域に挑戦する。

 - 自分で考え動き出す（課題解決能力育成）
 - デジタルツールを駆使する（デジタル人材育成）
 - 世界に目を向ける（グローバル人材育成）
 - 教育DX（DXを基盤とした新しい学びの確立）
 - 全ての人が活躍できる（誰一人取り残さない学び）

群馬の教育を推進する基盤となる5つの重点政策

- ### 1 「人」を支える取組の充実

教職員（力）を（人）とし、先陣でも後援を担うことで、児童生徒と教職員が生き生きと学び合える学校を実現する。

 - 教職員の働き方向上
- ### 2 これからの時代の学びを支える施設・設備整備の推進

時代に応じて変化していく学びに対応するため、将来を踏まえた施設・設備等の整備を推進する。

 - 独立学校の再編整備及び施設・設備整備の推進
- ### 3 これからの時代の学びを見据えた体制の整備

学びを活躍する多様な社会に必要な力を養い、能力を育む教育を推進するため、新たな学びの在り方に対応できる教育体制を整える。

 - 学校の魅力向上
 - デジタル学習基盤の整備
 - インクルーシブ教育推進に向けた体制整備
- ### 4 学びの充実に向けた様々な主体による連携・協働の推進

学びを学校だけで完結させず、「家庭」「学校」「地域」「行政機関」「民間団体・企業」等の連携・協働により、学校教育・社会教育が相互に関わりを持ちながら、自己実現や持続可能な社会コミュニティの基盤となる生涯にわたる学びを広げていく。

 - 「地域とともにある学校」・「学校とともにある地域づくり」に向けた取組の充実
 - 生涯学習・社会教育を推進する環境整備
- ### 5 全ての子どもの学びを支える取組の充実

全ての子どもが可能性を最大限に伸ばす教育を目指し、教育費負担の軽減を図りつつ、個別の課題を抱える子どもに対して、「教育」と「福祉」「医療」「福祉」「司法」「地域」「民間団体・企業」等の連携により、年齢や障害の多様性等に応じた支援を行う。

 - 教育に係る経済的支援
 - 不登校児童生徒等への支援の充実
 - 様々な発達背景により本来持つしなやかで力強さを発揮しづらい子どもに対する支援

群馬県教育ビジョンと令和6年度学校教育の指針

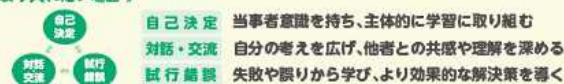
共通認識したいこと

自分事化 自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！

幼稚園教育要領や学習指導要領の資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）の育成を目指して、具体的な取組の例を示します。

- 《取り入れたい場面》を意識した問題解決的な学びを行いましょう。
 - 教師は見守りつつ、適切な支援（意欲や目的意識を高める問いかけ、比較・分類・関連等意識した発問等）を行いましょう。
- ※子供たちが好きなことを自由にしてよいということではなく、課題の解決に向け、友達と協働しながら自分たちの力でより良い方法を考えることができるようにすることが大切です。

《取り入れたい場面》



発達状況に応じて、「自分で考え、決める」割合が増えていきます。

幼児教育施設

ポイント

「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿」を念頭に置いて、環境の構成をしましょう。

● 水遊びの場面（水遊びおもちゃ）



水が高いところから低いところに落ちる仕組みを利用した「くじらのおもちゃ」を用意して、見守ります。



子供たちが何度も試しながら、あきらめずに自分たちで、「くじらのおもちゃ」から水を出す方法を見付けることができました。

教科学習の集点となる遊びが自然に行われます。

行事等



ポイント

活動自体が目的ではなく、自分たちで行事を作り上げていく意欲を実感し、より良い社会を実現するために何ができるかという視点を持って生活できるように支援しましょう。

エージェンシーを発揮（自律した学習者）



高等学校

ポイント

自らの生き方や社会の課題の解決に向けた探究的な学習となるように、単元・題材をデザインしましょう。

● 英語コミュニケーション！ 課題について考察する場面

私たちの身近な地域の課題ってどんなことがあるかな？

Your Project
To work on social issues around you and to give a presentation in English

私たちの町は高齢化が進んでいるよね。

実社会における課題を自分事化し、分析・考察した上で、具体的な提案・解決策を英語でプレゼンテーションする単元をデザインします。

ポイント

探究意欲（ワクワク感）を高められるような課題と出会う活動を設定したり、やりがいや達成感を味わえるよう、自分の思いを形にする場を設定したりしましょう。

誰もが住みやすい町にするには、どうしたらいいかな？



ポイント

自分で決定し、他者と交流しながら、友達と試行錯誤する場面を増やしていきましょう。

● 1年理科「光の性質」の全身が映る鏡の大きさを考える場面



自分は実際に実験をして確かめたけれど、友達のように前に学んだ作図を使っても字が合っていないと大変だね。



学習形態や学び方、解決の方法を生徒が選べるようにします。

様々な方法で考えたことを交流する良さを味わうとともに、光の性質を多面的に考えることができました。

総合的な学習（探究）の時間

総合的な学習（探究）の時間は、実社会や実生活の課題を解決する実践の場であり、そこでの振り返りが各教科等の学びに深まりと広がりを生み出すことになります。



上記の場面はあくまでも一例です。総合的な学習（探究）の時間と行事等は、どの校種にも置き換えて考えることができます。

1 群馬県教育ビジョンと令和6年度学校教育の指針

自分事化 自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す!

《 取り入れたい場面 》



中学校

ポイント

自分で決定し、他者と交流しながら、友達と試行錯誤する場面を増やしていきましょう。

群馬県教育ビジョンと令和6年度学校教育の指針

～確かな学力の育成～

教師が「～させる」授業から、児童生徒が「～する」授業へ

各教科等で特に現れてほしい児童生徒の姿

各教科等の指導の重点

図画工作・美術

○自分なりのよさや美しさを見付けたり表したりしている

・児童生徒が活動や表現方法、材料を選択できたり、互いの活動や作品を自然と見合えたりする環境を設定する。

自己決定

・自ら活動や表現方法、材料を選択

対話交流

・互いに活動や作品を自然と見合う

試行錯誤

・自ら活動や表現方法、材料を追求

本日の内容

- 1 群馬県教育ビジョンと令和6年度学校教育の指針
～図画工作・美術科の「特に現れてほしい児童生徒の姿と重点」～
- 2 **図画工作・美術科の「特に現れてほしい児童生徒の姿と重点」**
～設定の背景～
- 3 「特に現れてほしい児童生徒の姿と重点」を具現化するために
～本日の授業を基に～

2 図画工作・美術科の「特に現れてほしい児童生徒の姿と重点」

○図画工作科における資質・能力の育成を目指した授業づくり

「造形遊びをする」

子供の姿を丁寧に見つめながら、子供の行為や活動を資質・能力の視点で捉えていく

見守る 受け止める 認める 励ます

2 図画工作・美術科の「特に現れてほしい児童生徒の姿と重点」

○美術科における資質・能力の育成を目指した授業づくり

「表現と鑑賞の指導の関連を図る」

発想や構想と鑑賞の学習の双方に働く中心となる考えを明確にした学習を行う

指導のねらい 適切な題材

2 図画工作・美術科の「特に現れてほしい児童生徒の姿と重点」

○図画工作科の目標

知識及び技能

対象や事象を捉える造形的な視点について**自分の感覚や行為**を通して理解するとともに、**材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。**

思考力、判断力、表現力等

造形的な**よさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。**

学びに向かう力、人間性等

つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

本日の内容

- 1 群馬県教育ビジョンと令和6年度学校教育の指針
～図画工作・美術科の「特に現れてほしい児童生徒の姿と重点」～
- 2 図画工作・美術科の「特に現れてほしい児童生徒の姿と重点」
～設定の背景～
- 3 「特に現れてほしい児童生徒の姿と重点」を具現化するために
～本日の授業を基に～



3 「特に現れてほしい児童生徒の姿と重点」を具現化するために

～確かな学力の育成～

◎児童生徒が「自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す」中で、資質・能力を育成できるように、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進しましょう。

はばたく群馬の指導プランⅡ
はばたく群馬の指導プランⅡ ICT活用
Version

各教科等の目標に迫る 「主体的・対話的で深い学び」の実現

問題解決的な学習を充実させるICT機能
各教科等授業改善プロジェクト

教師が「～させる」授業から、児童生徒が「～する」授業へ

エージェンシーを発揮する「自律した学習者」へ

授業デザイン

- 日常生活や社会と関連した単元・題材を構想する
- 問題解決的な学習、探究的な学習を重視する
- 自己決定、対話・交流、試行錯誤の場면을授業の中に取り入れる

児童生徒の学び方改善

- 児童生徒が自分たちで追究すべき課題を設定する
- 課題解決に向けて、あきらめずに繰り返し挑戦する
- 児童生徒が自らの学びを自覚できる振り返りをする

教師の役割の見直し

- 学習のゴールを共有し、伴走者として支援する
- 児童生徒が学び方を自己選択できる環境の整備をする
- 児童生徒の学びの姿を適切に見取り、フィードバックする

【個別最適な学び】

指導の個別化

学習の個性化

エージェンシーを発揮

【協働的な学び】

学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料（文部科学省）

日常的なICT活用

ICTを活用した家庭学習のススメ
家庭と学校の学びをつなげた授業の実践事例

「オンラインでも」地域の人的又は物的な資源を活用しよう
オンライン授業の進め方

3 「特に現れてほしい児童生徒の姿と重点」を具現化するために

I 題材の構想
1 題材の目標及び生徒の実態

	目標	生徒の実態
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に、自分の感情と関連付けながら全体のイメージを捉えることを理解する。 〔共通事項〕(1) 自分の表現意図に合った材料や用具を選択し、意図に応じて自分の表現方法を工夫して表す。 〔A表現〕(2) 	<ul style="list-style-type: none"> レタリングや色の学習などから、形や色彩がもつ美しさについて理解しており、伝えたい内容を表すための効果的な表現を見付けることができる。 材料や用具については、おおむね使用することはできるが、材料や用具の特性を理解した上で、意図に応じて選択し、制作に生かそうとする生徒は少ない。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 感じ取ったことや考えたことなどを基に主題を生み出し、形や色彩などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。 〔A表現〕(1) 作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。 〔B鑑賞〕(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを言葉で表し、それらを組み合わせたりして主題設定はできるが、主題と形や色彩との関係性を捉えながら構想できる生徒は少ない。 作品のよさや美しさを直感的に感じ取ることではあるが、造形的な視点を働かせながら作者の思いや表現の意図と工夫について考える生徒は少ない。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に自らの気持ちを作品に表そうとしたり、作品から作者の心情や表現の意図と工夫などを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に創造活動に取り組もうとしたり、他者の作品に込められた意図や表現の工夫などに関心を持ったりする生徒は多いが、自分の考えを持たずに他者の考えに依存してしまう生徒も見られる。

その1【知識及び技能】

材料や用具については、**材料や用具の特性を理解**した上で、**意図に応じて選択**し、制作に生かそうとする生徒は少ない。

その2【思考力、判断力、表現力等】

主題と形や色彩との**関係性を捉えながら作品構想**できる生徒は少ない。

また、造形的な視点を働かせながら**作者の思いや表現の意図と工夫**などについて考える生徒は少ない。

その3【学びに向かう力、人間性等】

自分の考えを持たずに**他者の考えに依存**してしまう生徒も見られる。

3 「特に現れてほしい児童生徒の姿と重点」を具現化するために

- 表現や材料を追求する試しの活動の充実を図りましょう
- 自然な表現と鑑賞の往還を促す環境を設定しましょう

3 「特に現れてほしい児童生徒の姿と重点」を具現化するために

表現や材料を追求する試しの活動の充実を図りましょう

自然な表現と鑑賞の往還を促す環境を設定しましょう

本日の授業では…

桐生市立清流中学校 <表す過程>

ねらい

構想と表現方法との関係を再度見直し、自分の意図に応じた試しの活動を繰り返すことを通して、自分の意図に応じた表現を見付けることができるようにする。



試行
錯誤

自己
決定

○意図に応じて自分の表現方法を工夫

○自分らしい表現方法を追求

表現や材料の追求について

試行
錯誤

自己
決定

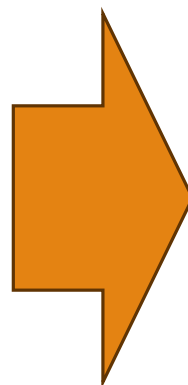
試行錯誤する視点について

材料や用具を試す

材料や用具を安全に使いながら、用具の扱い方に慣れるとともに、材料や用具が適切かどうかを判断したり選んだりしながら、使い方を工夫してつくることが大切

どのように活動するかについて考える

新たな造形的な活動を思い付いたり、更につくり方を考えたりすることを一体的に行いながら、自分のイメージを実現しようと考えることが大切



試しの活動の充実とは

試行
錯誤

自己
決定

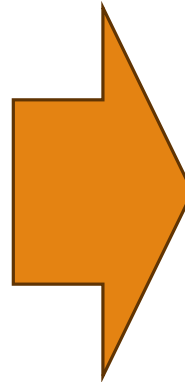
「試行錯誤する時間を確保しましょう」とは

安心して試行錯誤できる工夫

- 安心・安全に活動できる場所
- 何度もくりかえし試す機会
- 失敗してよい雰囲気づくり 等

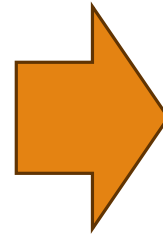
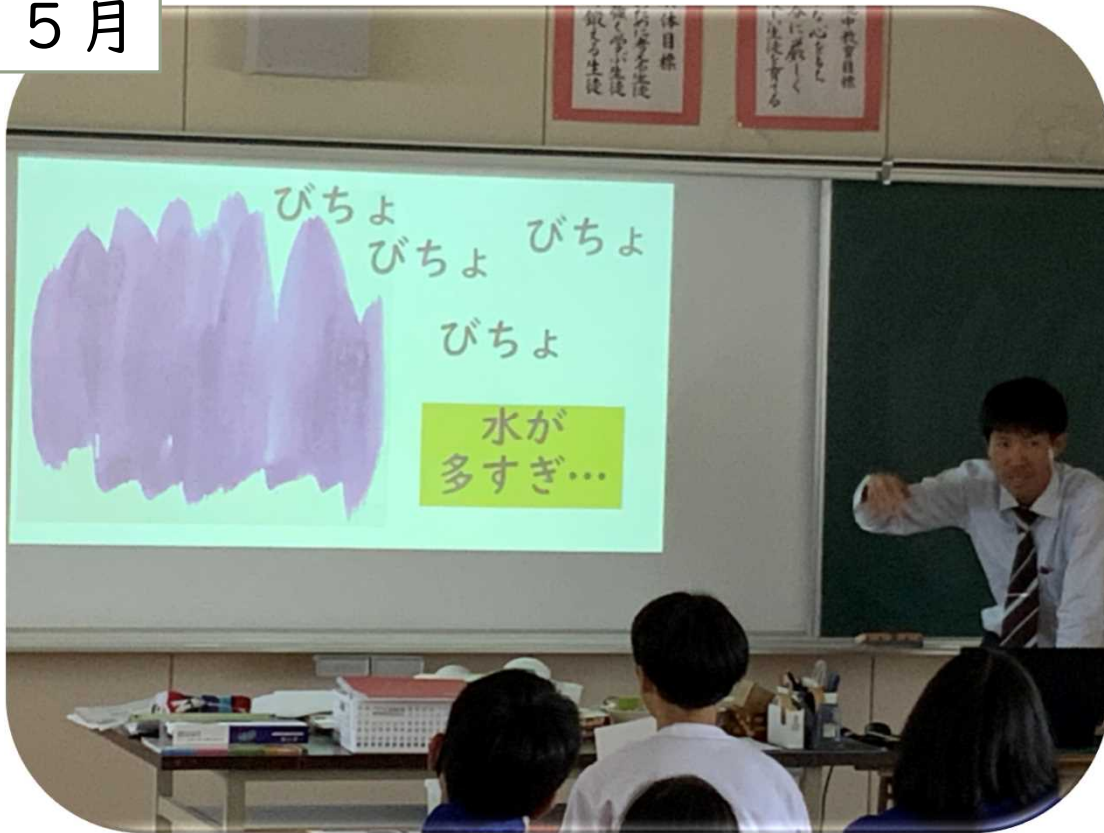
試行錯誤することを通して…

材料や用具がもつよさや特性に気付き、題材で取り組む中心となる考えをもつことができ、創造的な表現につながる



授業改善による清流中学校の生徒の姿の変容

5月



現在



- 材料や用具の特性について十分理解している。
- 自分の意図に応じた表現方法を工夫することができる。

はばたく群馬の指導プランⅡ【参考】



■自然に活動に没頭できる場づくりを工夫しましょう！

児童生徒は、活動の中で目に入るもの、出会うものなどに影響を受けながら、生徒の豊かな活動を引き出す場づくりを心掛けましょう。



〈材料・用具コーナー〉

材料や用具を選びながら自然な交流が生まれます。



〈展示コーナー〉

掲示している間に自然に他の作品を鑑賞します。

試行
錯誤



〈材料や表し方などの試しの場〉

表現の過程で自由に試せるようにしておきます。

自己
決定

3 「特に現れてほしい児童生徒の姿と重点」を具現化するために

表現や材料を追求する試しの活動の充実を図りましょう

自然な表現と鑑賞の往還を促す環境を設定しましょう

本日の授業では・・・

桐生市立清流中学校 <表す過程>

ねらい

構想と表現方法との関係を再度見直し、自分の意図に応じた試しの活動を繰り返すことを通して、自分の意図に応じた表現を見付けることができるようにする。



対話
交流

- 友達の作品のよさや込められた意図を感じ取ろうとする意識
- 粘り強く最後まで取り組もうとする態度

表現と鑑賞について

対話
交流

表現と鑑賞の指導の関連について

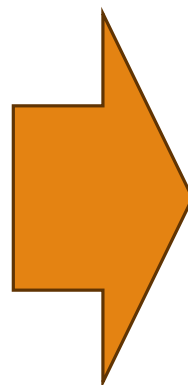
表現と鑑賞

表現と鑑賞は密接に関係しており、表現の学習が鑑賞に生かされ、そしてまた、鑑賞の学習が表現に生かされることで、一層充実した創造活動に高まっていくため、「A表現」と「B鑑賞」の相互の関連を十分に図り、学習の効果が高まるように指導計画を工夫する必要がある

鑑賞の学習

鑑賞の学習において、単に表現のための参考作品として、表面的に作品を見るのではなく、発想や構想と鑑賞の学習の双方に働く中心となる考えを軸にそれぞれの資質・能力を高められるようにすることが大切

中学校学習指導要領（平成29年告示）解説美術編より



往還を促す環境の設定とは

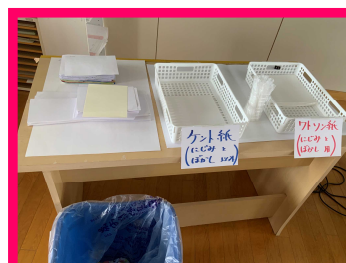
「表現と鑑賞を往還する題材構成をしましょう」とは

表現と鑑賞を往還するための工夫

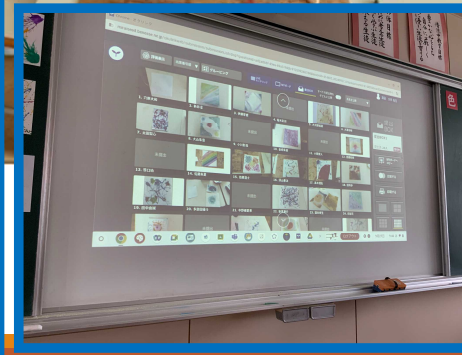
- 材料、用具コーナーの充実
- 展示コーナーの設置
- 試しの場の確保 等

往還することを通して・・・

一つのアイデアに固執せず、多角的な視点を持ち、作り・作りかえ・つくることで新たなアイデアを創造しようとするつくる喜びを感じることができる



対話
交流



授業改善による清流中学校の生徒の姿の変容

5月



現在



- 互いの活動の様子を見ることができ、自然な意見交流が行われている。
- 他者の表現から、自身の主題により近付ける工夫に生かしている。

はばたく群馬の指導プランⅡ【参考】

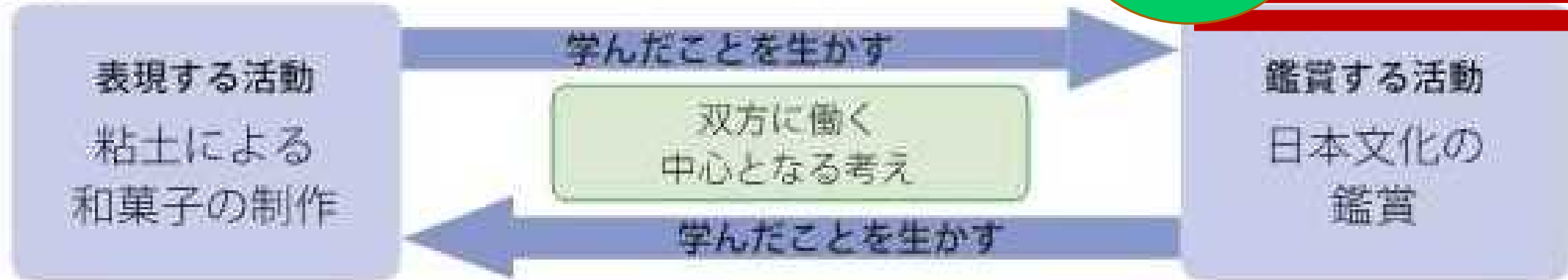
■ 表現と鑑賞を関連させた授業づくりをしましょう！

発想や構想する際と鑑賞する際の双方に働く中心となる考えを明確にして、表現しましょう。資質・能力は相互に関連して働き、共に高まっていきます。



対話
交流

例えば・・・



中心となる
考えの例

季節ごとの情景や自然の事物などを象徴的に取り入れるなど、日本で受け継がれてきた生活の中で見られる自然を味わう表現の工夫について考え、発想や構想をしたり鑑賞したりする。

授業改善による清流中学校の教師の姿の変容

5月



現在



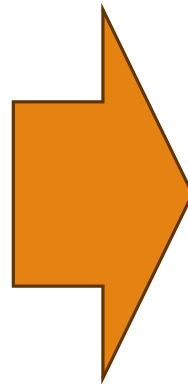
- 生徒が自ら考え自ら決めて主体的に活動を行えるような学習環境を保障している。
- 生徒の多様な表現方法を見取ることができる。

自然な表現と鑑賞の往還について

自然な表現と鑑賞の往還について

「造形的な見方・考え方を働かせ、主体的に学ぶ意欲や豊かな発想・構想、創造的な技能、造形的なよさや美しさを感じ取り味わう鑑賞の能力が質的に高まる学び」

中学校学習指導要領（平成29年告示）解説美術編より



	日付	学習課題	頑張ったこと・うまくいったこと・次回への課題など	検印
⑤	9/26	主題と基に自分の意図に応じた表現方法を考えよう。	主題に合った表現方法を考えることが難しく、大変でしたが、他人の作品を見ることでイメージを拜つてきました。また、色をあまりくっきりしないようにするので、かくは筆を多めにすることを忘れずにやりたいと思います。また、前は次の色をおしくこして失敗してしまたので気をつけたいです。	A

3 「特に現れてほしい児童生徒の姿と重点」を具現化するために



本日のまとめ

- 表現や材料を追求する試しの活動の充実を図りましょう
- 自然な表現と鑑賞の往還を促す環境を設定しましょう

本日の授業では…

桐生市立清流中学校 <表す過程>

ねらい

構想と表現方法との関係を再度見直し、自分の意図に応じた試しの活動を繰り返すことを通して、自分の意図に応じた表現を見付けることができるようにする。



試行
錯誤

自己
決定

- 意図に応じて自分の表現方法を工夫
- 自分らしい表現方法を追求

本日の授業では…

桐生市立清流中学校 <表す過程>

ねらい

構想と表現方法との関係を再度見直し、自分の意図に応じた試しの活動を繰り返すことを通して、自分の意図に応じた表現を見付けることができるようにする。



対話
交流

- 友達の作品のよさや込められた意図を感じ取ろうとする意識
- 粘り強く最後まで取り組もうとする態度

おわりに

～確かな学力の育成～

教師が「～させる」授業から、児童生徒が「～する」授業へ

各教科等で特に現れてほしい児童生徒の姿

各教科等の指導の重点

図画工作・美術

○自分なりのよさや美しさを見付けたり表したりしている

・児童生徒が活動や表現方法、材料を選択できたり、互いの活動や作品を自然と見合えたりする環境を設定する。

自己
決定

・自ら活動や表現方法、材料を選択

対話
交流

・互いに活動や作品を自然と見合う

試行
錯誤

・自ら活動や表現方法、材料を追求